

令和 2 年度 事業報告

1 定時総会

令和 2 年 5 月 12 日(火)協会会議室において定時総会を開催し、下記の議案を審議し可決した。会員総数 59 名中、出席者 10 名、外委任状 49 名

[議案]

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和元年度収支計算書及び監査報告について
収支計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、正味財産増減計算書
財産目録、監査報告書
- (3) 令和 2 年度事業計画(案)について
- (4) 令和 2 年度収支予算書(案)について
- (5) 役員を選任について
付帯決議(案)

2 理事会

理事会を 11 回開催して、協会の運営並びに事業活動等について審議した。

(4 月 15 日、5 月 12 日 (役員改選のため 2 回開催)、6 月 17 日、7 月 21 日
9 月 18 日、10 月 9 日、11 月 10 日、令和 3 年 1 月 21 日、2 月 25 日、3 月 19 日)

3 監査

令和 2 年 4 月 15 日(水)協会会議室において、鶴田忠男監事、鍋田昌吾監事が令和元年度の会計及び業務の監査を実施した。望月専務理事が説明し、監査には、藤山義修会長、鈴木達美副会長(会計担当)が立ち会った。

監査結果は、「収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していること、及び事業報告書の内容は適正であることが認められた。

この監査結果については、令和 2 年 5 月 12 日開催の定時総会で報告された。

4 入会及び退会者

入会者 会員 2 社

(株)ケイプロログ(掛川市緑ヶ丘 2 丁目 8-5-201) 令和 3 年 1 月 1 日入会

(有)中野測量設計事務所(伊豆市牧之郷 53-6) 令和 3 年 2 月 1 日入会

退会者 なし

(令和3年4月1日現在 正会員61社 賛助会員2社 計63社)

5 要望活動等

- (1) 令和2年6月17日(水) 正副会長・専務理事・理事らは、静岡県副知事、交通基盤部長や県企業局長、県教育委員会教育長、関係部局・各課に「静測協会会員名簿(令和2年5月現在)」を配布し、挨拶を行った。なお、難波副知事、長縄交通基盤部長・佐野交通基盤部理事ら幹部と面会した。
- (2) 令和2年11月9日(月)(一社)静岡県測量設計業協会(正副会長・専務理事、企画委員長、広報・経営改善委員長)、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)静岡県地質調査業協会の3団体と国土交通省中部地方整備局県内事務所は、中島屋グランドホテルにおいて意見交換会を行った。
- (3) 令和2年11月10日(火) 正副会長・専務理事と企画委員会は、県産業経済会館において県交通基盤部関係者との意見交換会を開催した。
- (4) (一社)静岡県測量設計業協会(正副会長・専務理事)、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会、(一社)静岡県地質調査業協会の4団体による静岡県知事・副知事への年始の挨拶は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止された。なお、関係部局への機関誌「静測協2021新年号」の配布は、専務理事が新年の挨拶とともに行った。
- (5) 全測連中部地区協議会(各県測協会長)と国交省中部地方整備局企画部との要望会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止された。なお、要望書は今村全測連中部地区協議会会長から令和3年2月15日に提出された。

6 総務委員会

- (1) 浜松市沿岸部は地域特有の砂丘景観があり、観光資源でもある「砂地」と貴重種カワラハンミョウの生息環境を維持するため、社会貢献の一環として中田島砂丘除草作業を令和2年10月16日に行った。
- (2) 技術論文等の投稿機会の創出と会員全体への技術の継承を図る静測協技術等図書館のホームページへの開設、そして、来年度の機関誌から優秀作品の掲載を図るために、審査会の設立と募集要項を作成した。

7 広報・経営改善委員会

- (1) 「測量の日」中部地区連絡協議会
「測量の日」中部地区連絡協議会は、日本測量協会中部支部長、全測連・中部地区協議会長、国土地理院中部地方測量部長、国土交通省中部地方整備局企画部技術調整管理官、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市の行政機関、岐阜

県測協、静岡県測協、愛知県測協、三重県測協、東海工業専門学校金山校の14機関で構成されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により会合はウェブ会議等で行われた。

令和2年12月14日(月) 実行委員会(愛知県測協会議室) 開催

竹内広報・経営改善委員長と望月専務理事が出席した。

令和3年3月1日(月) 委員会はウェブ会議により開催、会長が参加した。

(2) 「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事「測量の日」記念講演会開催

4県測協の持ち回りと国土地理院中部地方測量部の隔年開催で実施しており、今年度は(一社)三重県測量設計業協会により開催予定であったが、コロナにより来年度に延期された。

(3) 「地図教室」(小学校・中学校を対象)

国土地理院中部地方測量部の担当官がプロジェクターを使って講話を行い、測量の役割や地図の読み方を説明した。(講話)

次に、広報・経営改善委員長等から日本地図を歩いて製作した伊能忠敬のお話と会員の測量士らと共に、児童は10メートル歩いた歩数から自分の歩幅を割り出した後、ひみつの道で自分が歩いた歩数と歩幅から距離を計算する問題に取り組んだ。その後、測量機器を使った計測を行い、正確な距離との比較を学んだ。(測量体験学習)

静測協では、下記の小学校において、支部長、広報・経営改善委員会及び地元協会員が中心となり「地図教室」を開催した。

また、コロナにより開催を中止した浜松市立北浜小学校4年生には、7月17日宮島西部支部長と牧田委員、望月専務理事が小冊子「地図を知ろう」と「分県パズル」を贈呈した。

「地図教室」開催校(1校)

| 学 校 名 | 所 在 地 | 児 童 数 | 開 催 月 日 |
|-------------|-----------------|-----------|----------|
| 牧之原市立勝間田小学校 | 牧之原市勝間 588 番地 3 | 6 年生 23 名 | 9 月 24 日 |

なお、学校を上空から撮影するため、7月31日に大鐘測量設計(株)の協力を得て空撮とドローン教室を行い、望月専務理事も出席した。

協力会員 大鐘測量設計(株)、旭測量設計(株)、(有)二葉測量設計事務所

(4) 6月3日の「測量の日」は、測量の意義と重要性について国民に理解と関心を一層高めることを目的に、平成元年に制定されたもので、32回目を迎えた。令和2年6月3日(水)の建通新聞に「6月3日は『測量の日』」の広告を掲載し、「測量の日」を機会に、国民に新しい時代の測量・地図の意義と重要性について、一層の理解を訴えた。

(5) 令和2年度社長研修会の延期

令和2年10月15日(木)～16日(金) 浜名湖レークサイドプラザでの開催は、8月17日(月)の正副会長会議において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、来年度へ延期した。

(6) 発注機関等への啓発活動

- ア 令和2年度会員名簿1,550部を発行し、6月に正副会長・東部・中部・西部の各支部の会員により、県内発注機関(国土交通省等の出先事務所、県庁及び出先事務所、市町等)に会員への指名方要望に併せて配布した。
- イ 機関誌「静測協2021新年号」を1,027冊発行し、令和2年1月に会員の協力により県内発注機関及び各都道府県測量設計業協会・地図教室開催校等に配布し、協会活動の紹介を通じて、業界及び協会の啓発・周知を図った。
- ウ 建通新聞に協会名と全会員の社名入り年賀広告を掲載(令和3年1月1日)して、協会及び会員・賛助会員のPRをした。
- エ 全測連の機関誌「全測連2021」(200部)を2～3月に掛けて会員及び県内発注機関に配布した。

(7) 県民無料測量設計相談所

協会内に常設相談所を置き、主に電話による相談に応じ、11件の相談があった。

(8) ホームページの管理

協会のホームページを通して積極的に情報開示し、最新の情報の掲載に努めるとともに、会員専用ページの充実を図った。

8 企画委員会

- (1) 静岡県交通基盤部との意見交換会テーマ(意見・要望)と中部地方整備局との要望会への要望等を、4月に会員に依頼して、6～7月に掛けて取りまとめ、静岡県交通基盤部建設支援局建設技術企画課と全測連中部地区協議会へ提出した。

- (2) 静岡県交通基盤部関係者との意見交換会の実施

日時 令和2年11月10日(火) 9:30～11:30

場所 静岡県産業経済会館 3階 特別会議室

出席者 静岡県交通基盤部 建設政策課長、建設業課長、工事検査課長、公共用地課用地班主任、道路整備課橋梁班主任、道路保全課班長、土木防災課災害・防災班長、【県窓口】建設技術企画課長、技監、課長代理、技術調査班長、建設ICT推進班長、建設イノベーション推進班長

(計14名)

(一社)静岡県測量設計業協会 藤山会長、鈴木副会長、山村副会長、宮島副会長、勝間田理事(企画委員会委員長)、大井委員、服部委員、木俣委員、望月専務理事(計9名)

令和2年12月23日、この議事録を会員にメールで配信した。

(3) 中部地方整備局と全測連中部地区協議会の要望会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために中止され、要望書は令和3年2月15日に提出された。

(4) 「総合評価落札方式」の研修会

日 時 令和3年2月5日(金) 15:00～15:40

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室

講 師 静岡県建設技術監理センター 技術支援第2班 佐藤主査

研修内容 総合評価落札方式の導入の経緯と現況、活用ガイドラインの変更

参加者 32社43名、欠席会員には後日資料を送付した。

(5) 「仮称 労働安全マニュアル」の作成

県交通基盤部建設支援局工事検査課から、近年、建設関連業の事故のうち測量の事故の多い指摘があり、工事検査課の協力を得て、来年度のマニュアルの作成に向けて取り組む。

9 技術委員会

(1) 技術講習会

ア 第1回技術講習会（静岡県職員による講師の研修会）

日 時 令和2年10月7日(水)13:00～16:35

場 所 静岡県産業経済会館3階 大会議室

テーマ 及び 講師

(ア) 「南海トラフ地震対策に関する最近の話題」

静岡県危機管理部危機政策課 政策班主幹兼副班長 松村 昌広

(イ) 「急傾斜地崩壊対策事業と改正土砂災害警戒情報について」

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課 傾斜地保全班主査 平野 秀直

(ウ) 「静岡県の橋梁維持管理の取組」

静岡県交通基盤部道路局道路整備課 橋梁班 班長 伊藤 彰浩

参加者42名

イ 第2回技術講習会〔主催（一社）静測協、共催（公社）日本測量協会〕

実務者向けセミナー（ビデオ講習会）～UAVを用いた新たな計測技術とその利用～

日 時 令和2年11月17日(木)9:30～16:30

場 所 静岡県産業経済会館3階 大会議室

テーマ 及び 講師

(ア) 「開会挨拶およびUAV関連講習会から見たこと」

日本測量協会 常務理事

住田 英二

- (イ) 「UAV とその周辺技術の最新動向」
日本測量協会 認定講師 国際航業(株) 村木 広和
- (ウ) 「RTK-UAVの最前線」
日本測量協会 認定講師 do(株) 高原 正嗣
- (エ) 「UAVを利用するSLAM技術の最前線」
日本測量協会 認定講師 ルーチェサーチ(株) 渡辺 豊
- (オ) 「UAV搭載型ALB計測器の最前線」
日本測量協会 認定講師 (株)パスコ 小澤 淳真
- (カ) 「水中ドローンの最前線」
日本測量協会 認定講師 (株)東洋テクニカ 清水 俊成
- (キ) 「UAV を利用する技術をより深めるために及び閉会挨拶」
日本測量協会 測量技術教育部長 土井 弘充

参加者 54 名

- ウ 第3回技術講習会〔(一社)静岡県建設業協会、県産業経済団体連合会、静岡県測量設計業協会による3団体合同第1回技術講習会〕「建設ICTの推進」

日 時 令和2年12月22日(火)9:10~16:30

場 所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 6・7階 大ホール

テーマ 及び 講師

- (ア) 建設ICTの推進 現状と今後の方向性について
静岡県交通基盤部建設支援局建設技術企画課 課長 廣瀬 聡
- (イ) ICT活用工事の最近の動向として、令和2年度の間連基準類の新設、改定のポイントや今後の展望
(一社)日本建設機械施工協会施工技術総合研究所
研究第3部 副主幹 椎葉 祐士
- (ウ) ICT建機と施工管理 ICT建機の施工履歴データを使用した施工管理の事例紹介 (株)アクティオ ICT施工推進課 山田 圭織
- (エ) ICTを活用した河床掘削事例について(計画から施工・検査まで)
(株)杉山工務店(藤枝市) 今野 正志
(株)UNS(富士市) 桑波田 学
- (オ) これからの建設現場とそれに向けた先端技術の動向
サイテックジャパン(株) CSグループ マネージャー 柿本 亮大
- (カ) ARやクラウドを活用した施工の見える化/現場の見える化
株式会社 Geo ICT事業部 渡辺 弘貴
- (キ) UAV/TLS等々、マルチ測量システムのご紹介
(株)トリンプルパートナーズ神奈川・静岡 静岡営業所 芹澤 広師
- (ク) 三次元公共測量マニュアルと Technical report
(株)トリンプルパートナーズ神奈川・静岡テクニカルサポート部 米山 壽雅

参加者 106 名

(2) 地理空間情報産学官中部地区連携協議会に参画

地理空間情報産学官中部地区連携協議会の構成は、産業界から（公社）日本測量協会中部支部、（一社）全測連中部地区協議会及び4県の（一社）測量設計業協会、学界から名古屋大学、岐阜大学及び中部大学、官から国土交通省中部地方整備局企画部、国土地理院中部地方測量部、愛知県他3県4市等、事務局は国土地理院中部地方測量部である。

産学官が連携して取り組むべき課題、これに関連する学術、産業、技術・研究開発の動向等に関する意見交換及び情報提供等を行うために開催した。

令和2年12月15日（火）名古屋市内のウインクあいちで開催され、亀谷技術委員長がウェブ会議により参加した。また、会議資料は会員に提供した。

(3) 静岡県ふじのくに i-Construction 推進支援協議会に参画

（当初の名称 静岡県CALS／EC推進協議会）

静岡県CALS／EC推進協議会会長は静岡県交通基盤部長、副会長は（一社）静岡県建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として技術委員長、作業部会委員として技術委員の3名が参画している。また、i-Constructionに取り組むため専門部会を母体に設置された情報化施工推進WGと平成28年12月22日に設立された「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」には、当協会から技術委員長、技術委員が参加している。

なお、「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」は、平成29年7月19日に「ふじのくに i-Construction 推進支援協議会」に改称され、現在、当協会からは亀谷技術委員長、深民技術委員、倉田特別委員の3名が参画している。

令和2年12月7日（月）14：00～16：00 オンライン開催
・ICT施工の最新動向（国土交通省）・ICT活用の取組み状況
・ICT活用の今後の取組み

令和3年3月5日（金）14：00～16：00 オンライン開催
・ICT施工に関する基準類の改正について・ICT活用の実施状況
・3次元計測技術の拡大に向けた検討・ICT活用の普及拡大に向けた新たな取組み

また、会議資料は会員に提供した。

(4) 静岡市CALS／EC推進協議会に参画

静岡市CALS／EC推進協議会会長は静岡市建設局土木部長、副会長は静岡市建設局道路部長、（一社）静岡建設業協会会長、（一社）清水建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として企画委員が参画している。

なお、平成24年3月5日（月）開催以降開かれていない。

(5) 第71回日本学校農業クラブ全国大会 令和2年度 静岡大会 平板測量競技会における審査員の協力（令和元年7月～令和2年10月の本大会終了まで）

今年度に入り、役割分担の配置も終えて、第1回審査員研修会が新型コロナ

ナウウイルス感染状況や国・県の動向から中断していたが、令和2年6月17日の理事会に静岡大会事務局長の静岡県立静岡農業高等学校校長と県経済産業部農地局員が来られ、正式に静岡大会の開催中止が伝えられ、下記の審査員体制（以下の10社13名）は解散することとなった。

鈴木設計(株) 東静岡測量設計(株) (株)スルガコンサル 昭和設計(株)
伸東測量設計(株) (株)ツルタコンサルタント (株)グリーン (株)技研測量
不二総合コンサルタント(株)、(株)フジヤマ

(6) 静岡大学土木情報学研究所

静岡大学内に令和2年10月1日設立された。目的は、情報通信技術（ICT）などを活用したスマートシティ構築やインフラの維持管理の効率化を目的に16人の研究者が参加、土木系や情報系の産学官の専門家が集って技術の向上とノウハウの蓄積を図るものであり、当協会も参画した。

ア キックオフ・オンライン・ミーティング

日 時 令和3年2月4日 13:30～15:00

(7) 国土交通省 BIM/CIM 推進の対応 PT の設置

国土交通省中部地方整備局から全測連中部地区協議会に申し入れがあり、静岡協は PT を立ち上げ、令和2年10月26日会合を開き、課題を整理して中地協事務局に提出した。

PT は、藤山会長、亀谷技術委員長、委員は静岡コンサルタント(株)、(株)東日、昭和設計(株)、大鐘測量設計(株)、不二総合コンサルタント(株)、(株)フジヤマ

また、令和3年3月16日名古屋において国と中地協各県技術者等意見交換を行った。(藤山会長、亀谷技術委員長、静岡中委員出席)

10 調査委員会

(1) 「土木積算 S・E」 事業

ア 「土木積算 S・E」 資格更新講習会

日 時 令和2年7月30日(木) 13:30～16:10

場 所 静岡労政会館 6階 大ホール

講習内容

(ア) 土木工事標準積算基準について

(イ) 土木設計積算システムについて

講 師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員 2名

(ウ) 「官庁積算手法の現況」

講 師 (一財)経済調査会 積算企画室長 杉目 雅範

講習修了者 102名

イ 「土木積算 S・E 選定」 前期講習会

日 時 令和元年8月20日(木) 10:00～15:10

場 所 静岡県産業経済会館 3階 大会議室

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

講師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員 2名

講習申込者 49名、コロナ自粛 7名、前期講習修了者 42名

ウ「土木積算S・E選定」後期講習会・修了試験

日時 令和元年10月22日(木)：10：00～14：45

場所 静岡県産業経済会館 3階 大会議室

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

(ウ) 筆記試験

講師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員 2名

全講習修了者 41名・受験者 41名・合格者 39名

(2) 静岡県の建設事務総合システムの利用許諾を前提に、協会は市町と「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を締結している。

今年度覚書を締結したところは無く、締結済みは御前崎市、袋井市、浜松市掛川市、森町、菊川市、富士宮市、藤枝市、焼津市、松崎町、島田市、伊豆の国市の12市町となる。

これにより、静岡県土木設計積算システム(SMILES-ASP)を利用して、電算帳票作成業務を「土木積算S・E資格者」が在職する測量設計業者に委託することができる。

なお、静岡市が静岡県との「静岡県土木事務総合電算システムの利用に関する覚書」を解除したことに伴い、協会は静岡市長と締結済みであった「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を平成25年3月1日に解除した。

1.1 災害対策委員会

(1) 災害復旧事業技術研修会の開催

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止したが、静岡県沼津土木事務所が昨年の台風19号の教訓と災害査定の講習をYouTubeでライブ配信するので、会員に参加を勧め、資料を会員に提供した。

日時 令和2年6月25日(木) 9：30～11：30

(2) 静岡県及び県内市町等との「災害時における測量設計等業務委託に関する協定」について

災害協定の目的は、災害応急復旧工事に必要な測量設計等業務を迅速に実施

することにより、公共土木施設等の機能の確保又は回復を図ることである。
静岡県交通基盤部、経済産業部 7 農林事務所（治山、森林、農地）、静岡県道路公社、静岡県教育委員会、静岡県企業局及び浜松市、静岡市、川根本町、藤枝市、島田市、焼津市、吉田町、三島市、伊豆の国市、小山町、掛川市、菊川市、牧之原市、河津町、富士市、清水町、森町、沼津市、磐田市、西伊豆町、袋井市、湖西市、富士宮市、南伊豆町、東伊豆町、松崎町、長泉町、下田市、函南町、伊東市、伊豆市と「災害時における測量設計等業務委託に関する協定書」（以下「災害協定書」という。）を締結している。

今年度は、令和 2 年 7 月に伊東市、10 月に伊豆市と締結したので、災害協定締結市町は県下 35 市町のうち 31 市町となった。

[これまでの経過]

- ① 平成17年3月30・31日 静岡県建設部の 13 事務所長と災害協定書を締結した。
- ② 平成17年11月22日 焼津漁港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ③ 平成18年12月20日 浜松市長と災害協定書を締結した。
- ④ 平成19年 3月13日 静岡市長と災害協定書を締結した。
- ⑤ 平成21年 5月25日 静岡空港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ⑥ 平成21年 7月 1日 静岡県建設部の 13 事務所長（土木関係）と
～16日 災害協定書及び実施細目の変更協定書を締結した。
主な変更箇所は、様式第 2 号（技術者総括表）である。
- ⑦ 平成21年 8月19日 静岡県経済産業部の出先 7 農林事務所（治山・森林関係）
～31日 と災害協定書を締結した。
- ⑧ 平成21年11月 1日 川根本町長と災害協定書を締結した。
- ⑨ 平成21年11月30日 藤枝市長と災害協定書を締結した。
- ⑩ 平成21年12月25日 島田市長と災害協定書を締結した。
- ⑪ 平成22年 1月 8日 焼津市長と災害協定書を締結した。
- ⑫ 平成22年 2月 8日 吉田町長と災害協定書を締結した。
- ⑬ 平成23年 4月 1日 三島市長と災害協定書を締結した。
- ⑭ 平成23年 6月 1日 伊豆の国市長と災害協定書を締結した。
- ⑮ 平成23年11月25日 小山町長と災害協定書を締結した。
- ⑯ 平成24年 1月13日 掛川市長と災害協定書を締結した。
- ⑰ 平成24年 1月19日 菊川市長と災害協定書を締結した。
- ⑱ 平成24年 7月18日 静岡県交通基盤部長と災害協定書を締結した。
この締結にともない、①②⑤との協定を廃止した。
- ⑲ 平成24年 9月25日 牧之原市長と災害協定書を締結した。
- ⑳ 平成24年11月 5日 河津町長と災害協定書を締結した。

- ②① 平成25年12月12日 富士市長と災害協定書を締結した。
- ②② 平成25年12月20日 清水町長と災害協定書を締結した。
- ②③ 平成26年 3月 4日 森町長と災害協定書を締結した。
- ②④ 平成26年 3月24日 沼津市長と災害協定書を締結した。
- ②⑤ 平成26年 7月24日 磐田市長と災害協定書を締結した。
- ②⑥ 平成26年 8月 4日 西伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ②⑦ 平成26年 8月22日 静岡県道路公社と災害協定書を締結した。
- ②⑧ 平成26年 9月30日 袋井市長と災害協定書を締結した。
- ②⑨ 平成27年 1月19日 湖西市長と災害協定書を締結した。
- ③⑩ 平成27年 7月16日 富士宮市長と災害協定書を締結した。
- ③⑪ 平成28年 8月24日 南伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ③⑫ 平成30年 3月28日 静岡県経済産業部の7農林事務所長（山地災害・治山施設等の災害・農地農業用施設災害）と災害協定書を締結した。この締結に伴い、⑦との協定を廃止した。
- ③⑬ 平成30年 3月29日 静岡県教育委員会教育長と災害協定書を締結した。
- ③⑭ 平成30年 6月22日 東伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ③⑮ 平成30年12月19日 松崎町長と災害協定書を締結した。
- ③⑯ 平成31年 1月16日 長泉町長と災害協定書を締結した。
- ③⑰ 平成31年 3月 8日 下田市長と災害協定書を締結した。
- ③⑱ 令和元年11月15日 静岡県企業局と災害協定書を締結した。
- ④⑰ 令和 2年 3月 5日 函南町長と災害協定書を締結した。
- ④⑱ 令和 2年 7月17日 伊東市と災害協定書を締結した。
- ④⑲ 令和 2年10月19日 伊豆市と災害協定書を締結した。

なお、協定書締結に伴い締結先に毎年「協力者名簿」を提出している。
また、協定書は当協会のホームページに掲載している。

(3) 遠隔地の他県測協との「広域災害時相互応援に関する協定」について

東日本大震災の教訓から、南海トラフ大地震等広域災害発生時に不足する測量設計技術者を確保するため、同時被災のリスクが少ない静岡県と熊本県の測協間の災害協定を締結するように、静岡県と熊本県のご指導を受け、平成26年7月31日に両県立会いの下、(一社)熊本県測量設計コンサルタント協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

同様な主旨から、平成28年8月3日、静岡県と鹿児島県立会いの下、静岡県庁にて(公社)鹿児島県測量設計業協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

今年度は、熊本県の当番であるが新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と

令和2年7月台風による災害が甚大なことから、開催を中止した。

(4) 災害時応援協定締結事業者研修会等

ア 静岡県交通基盤部 13 出先機関との出動要請・応諾訓練

日 時 令和2年8月24日～9月11日の間

協力者 会員55社がのべ60回

イ 静岡県企業局との情報伝達訓練（メール送受信）

日 時 令和3年1月14日（木）10時3分

担 当 （一社）静岡県測量設計業協会事務局

ウ 静岡県東部農林事務所との災害応急業務実施応諾訓練（メール送受信）

日 時 令和3年1月15日（金）9時10分

担 当 東海技術開発(株)

オ 掛川市災害時応援協定締結事業者連絡会の参加

日 時 令和3年2月19日（金）15:00～16:30

会 場 掛川市文化会館シオーネ 大ホール

参加者 松井災害対策委員長

(5) BCP（事業継続計画）について

会員がいつでも作成できるように、協会ホームページ内にBCP（事業継続計画）サンプル原稿を掲載した。

(6) 静岡県建設副産物対策連絡協議会への参画

静岡県建設副産物対策連絡協議会長は静岡県交通基盤部長、副会長は交通基盤部理事である。当協会は、委員会に会長、幹事会に災害対策委員長、実務担当者として事務局長が参画している。

令和2年9月30日、国の「建設リサイクル推進計画2020」が策定されたことから、今後、静岡県はこれに準ずることとした。

(7) 大規模災害に対する災害協定業務の実施体制検討会について

昨年度、県交通基盤部に要望していた案件を検討するために「大規模災害に対する災害協定業務の実施体制検討会」が河川砂防局土木防災課により設けられ、（一社）静岡県建設コンサルタント協会と当協会の3者により検討していくこととした。

第1回令和2年10月14日、第2回令和2年12月17日に行われ、協会に持ち帰り内容を詰めた。災害協定の一元化は時期尚早となったが、連絡網のあり方について、検討していくこととした。

(8) （一社）静岡県・山梨県・神奈川県測量設計業協会3者による意見交換会

令和2年12月22日3県測協は、当協会主催の講習会の合間に会長等理事が集まり、意見交換を行った。

静測協は、山静神による広域災害応援協定の締結を提案し、両県測協は持ち帰り検討することとした。両理事会は基本的に理解したので、今後、合意できるように詰めていくこととした。

(9) 災害復旧及び災害防止事業功労者表彰の受賞

令和2年11月11日、東京都千代田区平河町砂防会館において、公益法人全国防災協会会長から表彰された。これは、静岡県交通基盤部が、常日頃からの災害協定に基づく活動と令和元年台風19号の迅速な対応を推薦したものである。

1.2 倫理委員会

(1) 独占禁止法遵守研修会

当協会、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)静岡県地質調査業協会、(一社)日本補償協会コンサルタント協会中部支部静岡県部会の建設関連業4団体の共催により開催した。

日 時 令和3年2月5日(金) 13:10~16:30

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室

講 師 (公財)公正取引協会 客員研究員 山田 務

研修内容 入札談合と独占禁止法について

独占禁止法の改正も併せて最新動向と入札談合防止のためのコンプライアンスの講義を行った。参加者32社43名

欠席会員等には、各事務局を通じて研修会資料を送付した。

- (2) 当協会のホームページ・会員名簿及び機関誌新年号に「倫理綱領」を掲載し、会員企業の社員に法令遵守を喚起している。この倫理綱領は、測量設計業に携わる者の基本的なルールであり行動指針であるので、会員企業の執務室に掲示するなど、周知徹底に努めている。

1.3 積算システム運営委員会

- (1) 令和2年11月10日(火)、静岡県交通基盤部建設技術企画課の担当者に出席いただき、協会会議室において第1回積算システム運営委員会を開催し、令和2年度「土木積算S・E選定」修了試験の結果について審議した。

その結果、受験者41名中、合格者は39名であった。

「土木積算S・E」選定試験の受験者数は、制度創設当初を除けば平成9年度をピークに減少傾向である。平成4年度から令和2年度までの合格者は1,764名であるが、令和2年11月現在「土木積算S・E」資格者として台帳に登録されている者は635名である。(内訳：会員507名、会員外138名)

- (2) 令和3年3月19日(金)、静岡県交通基盤部建設技術企画課の担当者に出席

いただき、協会会議室において第2回積算システム運営委員会を開催し、下記のことを協議し、令和3年度から改定することとした。

- ・今の制度に農地工事を取り入れること。
- ・土木積算S・E選定要領の見直し
- ・講習会の呼称の変更

1.4 他団体への講師派遣〈技術委員会担当〉

静岡県建設技術監理センターの依頼により、静岡県土木技術職員研修（測量概論・測量演習）に下記会員5社から講師を派遣した。

派遣年月日：令和2年7月15日（水）、16日（木）

令和2年7月29日（水）、30日（木）

「採用1年目研修」のうち測量概論・測量演習（実測・計算）

講師を派遣した会員 昭和設計(株)、(株)建設コンサルタントセンター

(株)スルガコンサル、服部エンジニア(株)、(株)ツルタコンサルタント

1.5 他団体等が主催する講習会等への参加

(1) 「事例に学ぶ勉強会 令和元年台風19号災害対応を振り返って」

主 催 静岡県沼津土木事務所

日 時 令和2年6月25日（木）9:30～11:30

会 場 YouTube ライブ配信

(2) 「技術発表会」

主 催 静岡県沼津土木事務所

日 時 令和2年9月25日（金）10:30～15:30

会 場 YouTube ライブ配信

(3) 「地理空間情報セミナー～測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」

主 催 （公社）日本測量協会中部支部 共催 静測協

日 時 令和2年10月8日（木）10:00～16:00

会 場 静岡県産業経済会館 第1会議室

(4) 「第30回 奥野ダム一日ダム教室」

主 催 静岡県熱海土木事務所 測量体験・ドローン展示協力 東部支部

日 時 令和2年10月29日（木）

会 場 静岡県伊東市 奥野ダム管理所

(5) 「3次元データ活用ウェビナー」

主 催 静岡県建設技術企画課

日 時 令和2年10月29日(木) 10:00~12:00

会 場 オンライン開催

(6) 「第24回 農地技術研究発表会」

主 催 静岡県産業経済部農地局(農地整備課)

日 時 令和2年10月30日(金)10:00~16:10

会 場 静岡県 あざれあ 6階 大ホール

(7) 「新技術交流イベント in Shizuoka2020」

オンサイト会場 しずぎんホール ユーフォニア

主 催 ふじのくに i-Construction 推進支援協議会事務局
(静岡県交通基盤部建設技術企画課)

日 時 令和2年11月5日(金)13:15~16:00

会 場 アゴラ8階(静岡銀行呉服町支店ビル)

(8) 「静岡県森林・林業技術研究発表会」

主 催 静岡県経済産業部 森林・林業局(森林計画課)

日 時 令和2年11月13日(金) 9:30~15:20

会 場 静岡音楽館AOI 7階 講堂(静岡市葵区黒金町1-9)

(9) 静岡県交通基盤部技術発表会(土木技術)

主 催 静岡県交通基盤部(建設技術企画課)

日 時 令和2年11月17日(火)10:00~16:30

会 場 静岡県 あざれあ 6・7階 大ホール

(10) 静岡県交通基盤部等優良業務委託表彰式

主 催 静岡県土木事務所等、農林事務所(交通基盤部工事検査課)

日 時 令和2年11月24日(火) 13:00~15:00

会 場 しずぎんホールユーフォニア

16 支部活動

「東部支部」

令和2年

4月6日 支部監査・支部理事会 於 プラザヴェルデ

出席者 5名(支部長・理事 2名・監事 2名)

・平成31年度会計監査・令和2年度支部総会議案

支部総会 メールで議決 29社中27社承認

・平成31年度事業報告

・平成31年度収支決算報告書及び監査報告並びに承認の件

・令和2年度事業計画(案)承認の件

- ・令和2年度収支予算（案）承認の件
 - ・令和2年度役員改選（案）承認の件
- 5月27日 沼津土木事務所長との面談 於 沼津土木事務所 10：00～
出席者 4名（鈴木支部長、齋・勝間田理事、鈴木監事）
- ・役員就任に伴う挨拶
 - ・東部支部活動の予定とお願い
- 6月5日 第1回支部役員会 於 プラザヴェルデ 13：00～
出席者 16名（支部長・理事・監事・各委員会委員長副委員長）
- ・役員構成について・東部支部、活動内容について・沼津土木事務所との意見交換会について・名簿ファイリングと配布先の仕分け
- 6月12日 第2回支部役員会 於 東日 9：30～
出席者 10名（支部長・理事・監事・各委員会委員長副委員長）
- ・沼津土木事務所との意見交換会議題について
- 7月3日 沼津土木事務所との意見交換会 於 東部総合庁舎会議室15：00～
出席者 県事務所：所長及び幹部職員10名
支 部：支部長及び各委員長10名
- ・協会からの要望・提案と、土木事務所からの回答
 - ・土木事務所からの協会に対する要望
 - ・その他
- 8月4日 沼津土木事務所長との面談 於 沼津土木事務所 9：00～
出席者 1名（支部長）
- ・意見交換会のお礼・全体協議会開催と講師依頼について
- 9月4日 第3回役員会 於 みしまプラザホテル 13：00～14：00
出席者 10名（支部長・理事・監事・各委員会委員長）
- ・土木の日の担当について
 - ・沼津土木事務所配信研修会のCPD受講証明書について
- 同日 支部全体協議会 於 みしまプラザホテル 15：00～
出席者 23社 49名
- ・東部4土木事務所・田子の浦港管理事務所所長講演会
- 9月11日 土木の日事前協議 於 沼津土木事務所 16：00～
出席者 3名（支部長、齋理事、土屋調査委員長）
- 10月19日 伊豆市災害協定締結 於 伊豆市役所 11：30～
出席者 5名（藤山会長、支部長、松井災害対策委員長、二村東部支部災害対策委員長、望月専務理事）
- 10月29日 ダム教室事前協議 於 奥野ダム管理所

出席者 3名（支部長、勝間田理事、大山技術委員長）

- ・展示内容について
- ・展示ブース・駐車場変更等について

11月4日 第4回支部役員会 於 プラザヴェルデ 15:00～

出席者 10名（支部長・理事・監事・各委員会委員長）

- ・沼津土木事務所「土木の日」について
- ・熱海土木事務所「ダム教室」について

11月14日 沼津土木事務所主催「土木の日」測量体験 於 沼津港 9:00～16:00

出席者：支部長、斎副支部長、市野、土屋委員長、(株)東海建設コンサルタント3名、(株)東日2名、(株)富士測量事務所1名

トランシットを使って測量体験（歩測）

226名参加 分県パズル50部配布

11月21日 熱海土木事務所主催「ダム教室」測量体験 於 奥野ダム

8:30～13:00

出席者：支部長、勝間田理事、鈴木監事、大山委員長、鈴木設計2名、駿河調査設計2名、静岡コンサルタント3名、ウィンディーネットワーク3名

トランシットを使って測量体験（歩測）、ドローン展示

38家族 118名参加、分県パズル50部配布

令和3年

3月9日 第5回支部役員会 於 みしまプラザホテル 10:00～

出席者 10名（支部長・理事・監事・各委員会委員長）

- ・仮決算
- ・総会について
- ・支部のノベルティについて
- ・地図教室
- ・未買収地立入時の地権者交渉に関する基本事項の確認と現状と今後

「中部支部」

令和2年

4月20日 中部支部評議委員会（コロナ禍のため書面開催） 中部支部19社

- ・令和元年度事業報告（中部支部各部会）
- ・令和元年度収支決算報告及び監査報告
- ・令和2年度事業計画（案）承認
- ・令和2年度事予算（案）承認
- ・中部支部総会議案説明・中部支部事業分担

- 6月 第1回中部地区評議会（コロナ禍のため中止）
- 7月3・4日 中部支部研修旅行（コロナ禍のため中止）
- 7月15・16日 静岡県交通基盤部土木研修会（県職員）於：建設技術監理センター
講師 中部支部5社2日間で延べ12名参加
参加者：32名
- 7月29・30日 静岡県交通基盤部土木研修会（市町職員）
於 建設技術監理センター
講師 中部支部5社2日間で延べ12名参加
参加者 32名
- 7月31日 「地図教室」関連ドローン空撮等 於 牧之原市立勝間田小学校
講師等 中部支部1社
参加者 23名
- 9月24日 「地図教室」の開催 於 牧之原市立勝間田小学校
講師等：中部支部6社
参加者 23名
- 10月 第2回中部地区協議会（コロナ禍のため中止）
- 10月14日 静岡県土木関係者との意見交換会 於 静岡土木事務所
参加者 県 11名、中部支部6名
・協会から県への要望・質疑
・県から協会への要望他
- 11月17日 静岡県交通基盤部ドローンによる被災状況調査訓練のための現場
見学
参加者：中部支部5社

令和3年

- 1月15日 県交通基盤部地震対策オペレーション2021内のドローンによる被災
情報収集訓練協力
参加者 中部支部5社

「西部支部」

令和2年

- 3月31日 第38回通常総会資料(議案書)配信
メールによる「書面表決」を支部会員に配信
・令和元年度事業報告及び収支決算について
・令和2年度事業計画案及び収支予算案について
・令和2年度研修会特別会計事業計画案及び収支予算案について
- 4月28日 第38回通常総会資料(議案書)承認議決

- メールによる支部会員全員の承認を得、議決
- 7月15日 第1回全員協議会 出席者 9名 於 不二総合コンサルタント
- ・理事会報告・各委員会報告
 - ・県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会について
 - ・令和2年度県測協社長研修会開催について
 - ・中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動について
- 8月28日 静岡県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会
於：浜松総合庁舎 9階会議室
- 出席者 県土木事務所 12名、企業局 3名、交通基盤部 2名
支部会員 12名
- 9月10日 第2回全員協議会 出席者 11名 於 不二総合コンサルタント
会議室
- ・理事会報告・各委員会報告
 - ・静測協への新規入会希望社について
 - ・中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動について
 - ・新年挨拶回りに日程について
- 10月16日 中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動実施
於：浜松市中田島砂丘
- ・外来生物の除去作業を浜松市土木事務所職員と合同にて実施
- 12月8日 第3回全員協議会及び冬季研修会
- 出席者 11名 於 浜名湖レークサイド
- ・理事会報告
 - ・各委員会報告
 - ・支部活動について

令和3年

- 1月14日 西部支部新年挨拶回り 参加者 13名
- ・関係官公庁 4グループにて挨拶回り実施
- 2月4日 支部役員会 出席者 3名
- ・総会開催について
 - ・来年度の事業計画について

1.7 (一社) 全国測量設計業協会連合会事業

(1) 令和2年度 定時総会

令和2年6月29日(月) 全測連測量年金会館（東京都内）において開催され、藤山会長が出席した。

(2) 全国会長会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から中止された。

(3) 全測連全国会長懇談会及び令和3年賀詞交歓会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から中止された。

(4) 経営委員会調査研究部会

藤山会長は、経営委員会調査研究部会に所属している。

令和2年9月4日(金)第1回経営委員会にオンライン出席した。

令和2年12月15日(火)第2回経営委員会にオンライン出席した。

令和3年3月11日(木)第3回経営委員会にオンライン出席した。

18 (一社) 全測連中部地区協議会事業

(1) 役員会・会長会議

役員会議年2回、会長会議1回開催し、協議会の運営、事業活動及び当面の課題等について協議することとしている。

藤山会長が協議会副会長、鈴木・山村・宮島副会長が協議会幹事、望月事務局長が事務局に就いている。

令和2年4月14日正副会長会、7月8日第1回役員会・合同講演会(日測協共催)は中止した。

第2回役員会もコロナの影響で開催出来なかった。

(2) 中部地方整備局との要望会

中部地方整備局に対する会員の意見・要望を7月に取り纏め、全測連中部地区協議会事務局(愛測協)に提出した。

要望書の提出は、中地協会長が令和3年2月15日(月)に提出した。

(3) 中部地方整備局長との災害協定

平成21年4月中部地区協議会長は、中部地方整備局長と「災害又は事故における中部地方整備局所管施設等の緊急的な応援対策の支援に関する協定書」を締結したが、テックフォースとの連携、リエゾン(情報連絡員)による情報共有、協定対象エリアの拡大等を目的として、平成25年3月1日に協定書が改定されている。この協定書に基づく「令和元年度災害等援助協力体制表」を中部地方整備局に提出した。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(4) 愛知県、岐阜県及び静岡県 の測量設計業協会長との災害協定

平成23年3月23日 中部地区協議会の3県の測量設計業協会長と「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」を締結している。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(5) 全測連中地協の災害関係委員長等により意見交換会

令和2年12月4日ウェブ会後を行い、松井災害対策委員長と望月専務理事が参加し、各県の災害対応について意見を深めた。

- (6) 中部ブロック災害復旧事業講習会（(一社)中部地域づくり協会他と共催）
コロナの対応により、中止された。
- (7) 中部地区用地対策連絡協議会 用地職員研修（測量）への講師派遣
日 時 令和2年10月29日(木)～10月30日(金)
- (8) グループ保険の取扱い
会員の従業員の福利厚生のため、グループ保険の取扱いを継続した。
- (9) 国土交通省中部地方整備局のBIM/CIM推進の対応について
10月に国から意見を求められ、PTを立ち上げ、意見を取りまとめた。
令和3年3月16日(火)14時～16時 名古屋市内 桜華会館において
意見交換した。(藤山会長、亀谷技術委員長、静岡田中委員出席)
- (10) 国の第3次補正予算関係
 - ・令和3年1月18日中部地整と4県測協会長とで、ウェブ会議を行った。
 - ・令和3年2月18日中部地整、静岡協正副会長、静岡県建設業協会会長・専務理事の3者によるウェブ会議を行った。
 - ・令和3年3月2日静岡県建設業協会会議室において、(一社)静岡県建設業協会と(一社)静岡県測量設計業協会の両正副会長8名と両専務理事2名により、補正についての対応を話し合った。

19 (一社)静岡県建設産業団体連合会事業

- (1) 定時総会（コロナ対策のため、最小限の人数により開催）
令和元年5月25日(月) 静岡県建設業会館において開催され、当協会は委任状を提出した。
- (2) 「建設産業構造改善推進のつどい」
令和2年9月11日(金) 静岡市産学交流センター「ペガサート」において開催され、望月専務理事と会員1名が出席した。
- (3) 「令和2年度静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会 安心安全まちづくりの集い」は、コロナの対応により中止された。
- (4) 静岡市の「しずおか建設まつり」は、新型コロナウイルスの対応により中止された。
- (5) 「建設産業セミナー2020」は、コロナの対応により中止された。

20 慶弔費

死亡弔慰金2件については、内規により対応した。

(内規は、協会のホームページに掲載)